

キッズデザイン協議会

第二回経営者懇談会のご案内

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

キッズデザイン協議会は、昨年4月に内閣府より特定非営利活動法人(NPO)としての認証を受け、新しいスタートを迎えました。なかでも、第1回キッズデザイン賞の実施、並びにキッズデザイン博2007の開催は、協議会内外より大変な評判をいただきました。このような成果を上げることが出来ましたのも、会員の皆様のご理解ご尽力の賜物と御礼申し上げます。

このような成果を受け、昨年12月に福田総理大臣により取りまとめられた「生活安心プロジェクト緊急に講ずる具体的な施策」において、「キッズデザイン賞」が取り上げられました。これから、子どもが思いもよらない事故に巻き込まれにくい製品・施設の更なる普及に取り組むためには、企業・部門に留まらないキッズデザインに対する取組が重要となり、ますます期待が高まっています。

そこで、より多くの企業・団体のトップの方にお集まりいただき、キッズデザインの更なる普及啓発と、新たな事業展開を図っていただきたいと考え、「第二回経営者懇談会」の開催を下記の通りご案内申し上げます。

そうした意図のもと、今年は二部構成とさせていただき、第一部では経済産業省製造産業局長細野哲弘様にもご出席をいただき、会員企業経営者の方々を中心とする意見交換会を行います。そして第二部では、昨年同様に経済産業大臣甘利明様にもご出席をいただき会員相互の交流を更に深めていただく懇親会を行います。

万障お繰り合わせの上、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

平成20年3月吉日
キッズデザイン協議会
会長 和田 勇

記

会 場：虎ノ門パストラルホテル
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-1 裏面に地図がございます。
TEL:03-3432-7261(代表)

日 時：平成20年4月2日(水) 17:00～20:30

第一部 意見交換会 テーマ：「キッズデザインの更なる推進について」
17:00～18:00(開場16:30)新館6階「ペーシュ」の間

第二部 懇 親 会
18:30～20:30(開場18:00)新館4階「プリムローズ」の間 (立食形式)

別紙のご出欠申込書をご記入の上、事務局宛 **3月14日(金)までに** FAXにてご返送願います。

会 費：自治体、公益法人等の団体の方は無料とさせていただきます。

特定非営利活動法人キッズデザイン協議会 第2回経営者懇談会 第1部意見交換会 座席表

スクリーン

入り口

荒木 潤一郎 様
(経済産業省)
御園生 誠 様
(製品評価技術基盤機構)
小林 登 様
(日本子ども学会)
川添 博史 様
(GIS総合研究所)
苅宿 俊文 様
(学習環境デザイン工房)

山本 かなえ 様
(経済産業大臣政務官)
羽藤 秀雄 様
(経済産業省)
諸永 裕一 様
(経済産業省)
高部 篤 様
(レーベン販売)
武藤 英夫 様
(フレール館)
杉野 深 様
(東急建設)

小野 裕嗣
(専務理事)
和田 勇 様
(会長/積水ハウス)
高橋 義則 様
(UDI/理事)
長尾 博明 様
(イオン)
平野 精一様
(エプソン販売)
佐藤 貴之 様
(クオオレ・アモーレ)

高橋 美和子 様
(人間生活工学研究センター)
渡辺 尚生 様
(東京ガス)
伊久 哲夫 様
(積水ハウス)
和田 純夫 様
(積水ハウス)

永安勝壽様
(コイズミフアニテック)
森川卓也様
(コクヨSS&T)
松浦弘昌様
(コンビ)
徳本達郎様
(ジャクエツ)
徳本道輝様
(ジャクエツ)
國分 功様
(セガトイズ)
鳥原光憲様
(東京ガス)
足立直樹様
(凸版印刷)
金子 眞吾様
(凸版印刷/副会長)

浅島 和夫 様
(板橋区)
福田 勲 様
(高槻市)
河野 雄一郎 様
(森ビル)
西平均 様
(ミサワホーム)
大田 勉 様
(松下電工)
中野 治 様
(フレール館)
加藤 公敬 様
(富士通デザイン)
八木 陸 様
(富士通)
中西 健二 様
(トータルメディア開発研究所)
成川 匡文 様
(東京電力)
佐伯 吉則 様
(大和ハウス工業)
久留島 豊一 様
(シマキ)
永島 康一郎 様
(安藤建設)
吉村 昌明 様
(安藤建設)
松尾 和人 様
(アシックス)

日時:2008年4月2日 午後17時~18時15分
場所:虎ノ門パストラル 新館6階 「ペーシュ」

「キッズデザイン」のさらなる展開

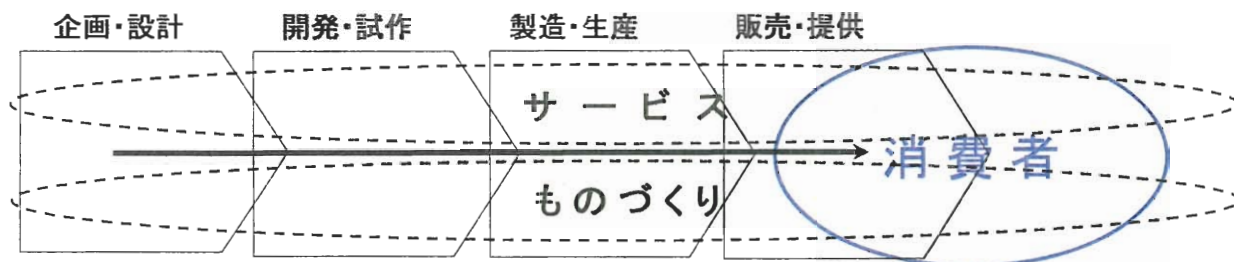
子どもの安全安心と健やかな成長発達に向けて、ものづくり、サービスをはじめ、経済社会のシステムや環境における「キッズデザイン」のさらなる展開を図るに当たり、

- 「第1回キッズデザイン賞」受賞の対象について、
- 各事業関係者と個別に意見交換を重ね(08年2月～3月に実施)、
- 企画・設計、開発・試作、製造・生産、販売・提供の具体的なアプローチや手法などから、「キッズデザイン」についてのポイントを整理することを試みた。

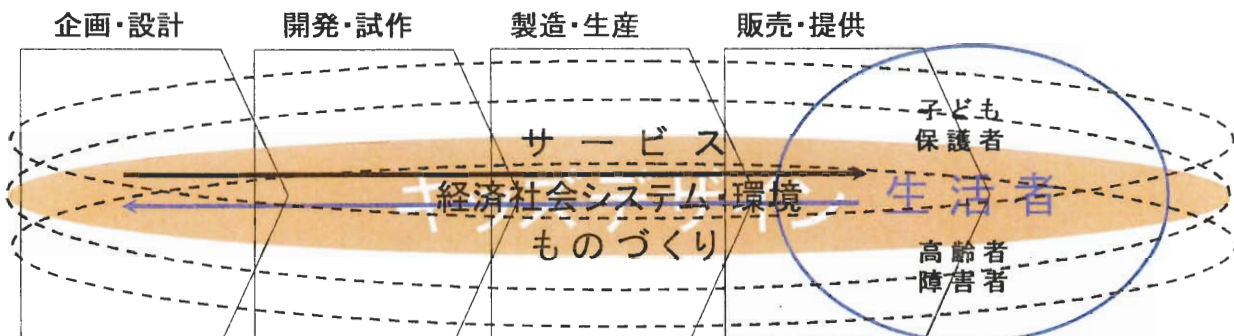


「キッズデザイン」の流れ

これまでの流れ



生まれつつある流れ



「キッズデザイン」のポイント(例)

- ① **ユーザーの声を良く聞く**
子ども自身や保護者のニーズ、保育園・幼稚園・小学校などの現場の声を聞く。
例) モニターなど協力者との意見交換、繰り返しのユーザー・テスト
保育園・幼稚園などの訪問を通じた意見交換や行動観察 など
- ② **子ども(ユーザー)を良く知る**
子どもの寸法・行動の特性を知る(=大人の「スケールダウン」には非ず)。
例) 子どもの身体や足の寸法・形状の計測
歩行やトイレの使い方、遊びや道具の使い方などの観察・計測 など
- ③ **情報を収集・共有する**
事故情報やクレームを関係者で共有する。
例) 事故情報やヒヤリハットの情報の積極的な収集と共有 (ITの活用、書面の蓄積)
生産における不良品、その原因などの共有 など
- ④ **技術、知識、素材を活用する**
先端や匠の技術、ベテランや専門家の経験や知見、他目的の素材などを活用する。
例) 大人向けなど他の分野で活用される技術や素材の活用
営業、調達などユーザーや市場動向及び外部技術などに詳しい人材の活用
医師や有識者・研究者との共同研究など
- ⑤ **工学的アプローチを活用する**
ものづくりやサービスにおける開発、製造、管理の手法を活用する。
例) 観察・計測のデータの解析や処理、確率的分析、ITやソフトウェアの活用 など
- ⑥ **経営者や開発者の思いがリードする**

2

「キッズデザイン」と今後の市場展開(例)

- ① **「キッズデザイン」市場の拡大**
従来から、少子化・高齢化の進展の中で、子ども向けの製品・サービス・設備などの「伸縮み」が指摘されてきてはいるものの、安全安心、機能の付加価値や差別化の一層の展開は、さらなる市場の広がりや深化をもたらすのではないかと。
例) 公共施設、保育園・幼稚園などでのさらなる展開 など
- ② **「キッズデザイン」の子ども以外の生活者への展開**
「子ども目線」(Through Kids Eyes)による安全安心の対策は、高齢者・障害者をはじめとする大人にとっての安全安心の向上ももたらすこととなるのではないかと。
例) 医療機器、家電製品、暖房器具などへの展開 など
- ③ **新しい価値の創造とその展開**
「もの」の充実から「ココロ」の充足へと、あるいは、「ものづくり」から「ものがたり」へと、「感性」価値の創造を通じてさらなる市場の展開を図ることができないのではないかと。
例) 接客の場での活用 など
- ④ **グローバルな市場の展開**
製品・サービスのグローバル化が進む中で、「子ども目線」の製品・サービスのグローバルな展開は、世界規模での子どもの安全安心と健やかな成長発達を支えることとなるのではないかと。
例) 海外メディア、国際フェア・展示会・イベントなどでの積極的な発信 など
- ⑤ **経営者や開発者の思いの共有・展開**

3

「キッズデザイン」の今後の施策展開(例)

「キッズデザイン」のさらなる展開を図るに当たっては、事業者のイノベーション、創意工夫が最大限に活かされるよう、民官の役割分担を踏まえながら、政府においては規制制度改革などの環境を整えるとともに、必要な支援を講じることが適切ではないか。

① 知的基盤の整備

- i) 子どもの事故情報に関するデータ
- ii) 子どもの成長に応じた身体特性(寸法・行動)のデータ
- iii) キッズデザインに係る開発・販売などのノウハウのデータ など

② 規格化・標準化

- i) 関連データの整備の前提となる属性や項目の標準化・共通化
- ii) 子どもの身体特性の計測方法の規格化
- iii) 製品やサービスの安全性に係る試験方法の規格化 など

③ 「キッズデザイン」市場の展開

- i) 「キッズデザイン賞」の実施のあり方
- ii) 受賞作品の発表展示会の全国展開のあり方
- iii) 受賞作品を体験・実感・入手できる方法
- iv) 各事業者のキッズデザインへの取組みのPRなどの支援
- v) キッズデザインの考え方の海外への展開のあり方 など